



NEWS RELEASE

Lund, Sweden – June 25, 2020

Alfa Laval Group
Box 73
SE-221 00 Lund
Sweden
Visit: Rudeboksvägen 1

Tel: +46 46 36 65 00
www.alfalaval.com

アルファ・ラバルが世界をリードするエンジン開発 メーカーと契約を締結

熱交換、遠心分離、流体移送のリーディングカンパニーであるアルファ・ラバルは、船舶に使用する燃料の種類に関係なく、顧客のニーズにこたえるべく新たな製品を開発し続けています。スイスのエンジン開発メーカーWinGDと協力し開発された新しいアルファ・ラバル CEC-Sソリューションは、天然ガスを燃料としたエンジンの効率を向上させることができます。

その新しいアルファ・ラバル CEC-S システム（カスケード式排気ガス冷却システム）は、WinGD のガスエンジンに組み込まれ、冷却とリサイクルの目的で使用されます。大気中へのメタン放出を大幅に低減すると同時に、エンジン効率を向上させて船舶の二酸化炭素排出量を削減します。

「このソリューションの開発は、低圧ガスエンジンの設計者WinGDとの緊密な協力により、非常に満足のいくものでした」と、Marine Divisionの社長であるSameer Kalra氏は述べています。「これは、「Getting to Zero Coalition」への取り組みの明確な答えの一つでもあります。新技術の開発を通じて気候変動に対処することを目的とした取り組みです。」

スイスのエンジン開発メーカーWinGDは、ライセンスシーであるエンジン製造メーカーがこの新しい装置を実装できるように技術提供します。この場合、アルファ・ラバルのCEC-Sソリューションが組み込まれます。

地球規模での排出量を削減するためには、燃料の選択が重要です。伝統的に重油を使用している海洋部門では、排出を制限するためにこれまで以上に厳しい規則が実施されています。天然ガスを燃料として使用するなど、遵守する方法はいくつかあります。天然ガスは、従来の燃料に見られる窒素酸化物と硫黄酸化物をほんの一部しか含まれておらず、二酸化炭素の排出量は少なくなっています。

ご存知ですか…IMOによると、液化天然ガスを貨物として運ぶ船は、50年以上も天然ガスを燃料として利用されています。

Alfa Laval signs agreement with leading engine developer

アルファ・ラバルについて

アルファ・ラバルは、エネルギー、海洋、食品 & 水の分野で活動しており、約 100 か国の幅広い業界に専門知識、製品、サービスを提供しています。同社は、プロセスの最適化、責任ある成長の創出、および進歩の促進に取り組んでいます。常に、お客様がビジネス目標と持続可能性目標を達成するためのサポートに全力を尽くします。

アルファ・ラバルの革新的なテクノロジーは、材料の浄化、精製、再利用に特化しており、より責任ある天然資源の使用を促進しています。それらは、エネルギー効率と熱回収の改善、より良い水処理、および排出削減に貢献します。これにより、アルファ・ラバルは顧客だけでなく、人々や地球環境への貢献を加速させています。毎日、世界をより良くします。それはすべて、Advancing better™に関するものです。アルファ・ラバルの従業員数は 17,500 人です。2019 年の年間売上は SEK 465 億（約 44 億ユーロ）でした。同社はナスダック OMX に上場しています。

www.alfalaval.jp

お問い合わせ：

Peter Torstensson
Senior Vice President, Communications
Alfa Laval
Tel: + 46 46 36 72 31
Mobile: +46 709 33 72 31